

## 一般会計 歳入・歳出予算の執行状況

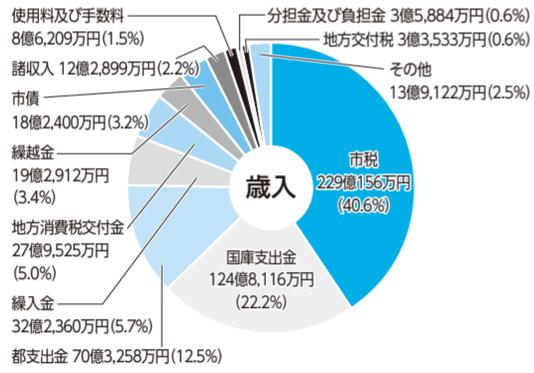
歳入・歳出予算現額 593億3,570万円

一般会計の歳入予算の執行状況は95.0% (前年度は94.1%)となりました。決算時には、歳入予算の執行率は、例年ほぼ100%となっています。令和3年度も、出納整理期間中に事業完了に伴う国や都からの補助金や借入金の収入が見込まれるので、予算額どおりの決算となる見込みです。

歳出予算の執行状況は84.6% (前年度は85.4%)となりました。3月末に完了した事業費や光熱水費など月額支払いが出納整理期間で行われ、最終的には令和3年度も例年同様97~98%程度の執行率となる見込みです。

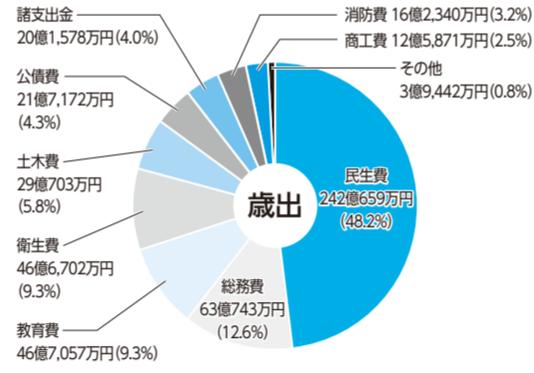
**歳入** 収入済額 563億6,374万円 (対予算収入率95.0%)

■半期ごとの状況 上半期=222億4,920万円 下半期=341億1,454万円



**歳出** 支出済額 502億2,267万円 (対予算執行率84.6%)

■半期ごとの状況 上半期=222億1,745万円 下半期=280億522万円



令和3年度下半期(10月~3月)

# 市の財政状況をお知らせします

財政状況の作成及び公表に関する条例に基づき、半期ごとに予算の執行状況や市の財産、市債残高などを公表しています。今回は令和3年度下半期(令和3年10月1日~令和4年3月31日)の財政状況をお知らせします。

なお、お知らせする金額などは3月31日現在のもので、決算額ではありません。令和3年度の決算額は出納整理期間(\*1)終了後(下水道事業会計は決算整理(\*2)終了後)に確定します。

(\*1)4月1日~5月31日。前会計年度末までに確定した債権債務に関して所定の手続きを完了し、現金の未収未払の整理を行うための期間

(\*2)固定資産に係る整理や消費税計算など、事業年度終了後に行う会計処理

↓ 財政課 (内55)

## 全会計の執行状況

会計	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)		
一般会計	593億3,570万円	563億6,374万円 (95.0%)	502億2,267万円 (84.6%)		
特別会計(*)	国民健康保険	109億7,674万円	103億2,205万円 (94.0%)	102億5,105万円 (93.4%)	
	介護保険	91億6,258万円	86億8,996万円 (94.8%)	81億2,435万円 (88.7%)	
	後期高齢者医療	30億573万円	28億8,870万円 (96.1%)	29億2,374万円 (97.3%)	
全会計合計	824億8,075万円	782億6,445万円 (94.9%)	715億2,181万円 (86.7%)		

(\* ) 特定の事業・資金など特別に必要となる場合に、一般会計から区別して歳入・歳出を別個に処理する会計(法律で特に定めるものを含む)

区分	予算現額	執行額	執行割合	
下水道事業会計	収益的収入	25億2,802万円	22億7,834万円	90.1%
	収益的支出	28億8,030万円	19億9,577万円	69.3%
	資本的収入	3億6,983万円	2億5,542万円	69.1%
	資本的支出	9億9,831万円	8億8,193万円	88.3%

※下水道事業は、地方公営企業法の財務規定の適用により会計方式が公営企業会計に移行しているため、別表示としています

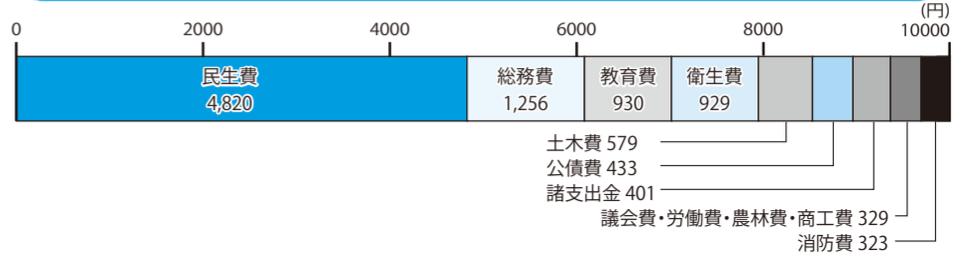
## 市民1人当たりの一般会計歳出の使いみち

一般会計の支出済額を使いみちごとに分類し、市の人口128,011人(令和4年4月1日現在)で除して市民1人当たりの額を算出しました。

内容	市民1人当たりの額	前年度
福祉の充実のために(民生費)	189,098円	168,905円
市役所の運営や市税の賦課・徴収のために(総務費)	49,272円	125,896円
学校教育や生涯学習、文化財の保護のために(教育費)	36,486円	40,487円
健康の増進や衛生管理・ごみ処理のために(衛生費)	36,458円	29,577円
道路・駅周辺整備や交通安全のために(土木費)	22,709円	25,024円
市債の元金・利子償還のために(公債費)	16,965円	12,585円
特別会計への繰入金・貸付金や基金積立のために(諸支出金)	15,747円	7,761円
議会運営や経済・農業振興のために(議会費・労働費・農林費・商工費)	12,914円	5,876円
火災などの災害対策のために(消防費)	12,682円	12,752円
合計	392,331円	428,863円

前年度に比べ、市民1人当たりの支出合計は36,532円減となりました。民生費などが増額となっている一方で、特別定額給付金給付事業の皆減等により、総務費などが減額となっています。

## 一般会計の歳出1万円当たりの使いみち



## 市債の状況

道路、公園、小・中学校、下水道などの公共施設整備のために、国や都、金融機関などから長期に借り入れて調達した資金のことを「市債(市の借金)」といいます。整備した公共施設は将来にわたって使用しますので、この費用を現在の市民だけではなく、将来の市民も負担することで、世代間の負担を公平にします。

項目	元金	利子	合計
市債の現在高	251億1,676万円	10億1,338万円	261億3,014万円
市民1人当たり(* )	約19万円	約1万円	約20万円

(\* ) 128,011人(令和4年4月1日現在の人口)

区分	市債の現在高			内容
	元金	利子	合計	
一般会計	215億8,342万円	6億7,165万円	222億5,507万円	
総務債	15億8,140万円	1億1,046万円	16億9,186万円	国立駅高架下市民利用施設整備、公益施設整備
民生債	10億3,234万円	5,500万円	10億8,734万円	高齢者複合施設・保育園園舎建設、保育園大規模改修
衛生債	3億2,998万円	2,213万円	3億5,211万円	老人保健施設建設
土木債	121億411万円	3億67万円	124億478万円	道路・公園整備、エックス山緑地保全用地取得、国分寺駅北口再開発事業
消防債	6億6,528万円	1,348万円	6億7,876万円	消防団詰所整備、消防署用地取得
教育債	40億213万円	1億4,915万円	41億5,128万円	小・中学校建設・改修、公民館・図書館整備
臨時財政対策債	16億283万円	2,012万円	16億2,295万円	一般財源の不足分に充当
減税補てん債・臨時税収補てん債	2億6,535万円	64万円	2億6,599万円	市民税等減税分・税収の補てん
下水道事業会計	35億3,334万円	3億4,173万円	38億7,507万円	公共下水道整備

## 一時借入金の状況

一時借入金はありません

市有財産の状況	土地	建物	物権
令和3年度上半期(* )からの増減(* )令和3年12月1日号8ページ参照	公園や施設などの敷地 520,365㎡ (+1,209.17㎡)	学校や公民館など 165,040.9㎡ (+763.65㎡)	地上権 1,352.58㎡ (±0㎡)
出資による権利等	物品	債権	基金
(株)JR中央線コミュニティデザイン出資金など 5,790万円 (±0円)	1件100万円以上の自動車等備品類 282点 (-4点)	国分寺市土地開発公社貸付金など 6億8,052万円 (+269万円)	財政調整基金など 126億2,575万円 (-9億9,019万円)